

第1期決算公告

2022年5月31日

東京都中野区松が丘一丁目33番15号  
株式会社フージャースウェルネス&スポーツ  
代表取締役社長 伊久間 努

貸借対照表

(2022年2月28日 現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>855,210</b>	<b>流動負債</b>	<b>610,488</b>
現金及び預金	626,652	買掛金	75,521
売掛金	79,744	未払金	87,898
商品	25,790	未払法人税等	6,975
貯蔵品	7,795	未払消費税等	97,990
未収入金	12,422	預り金	37,928
前払費用	102,360	割賦未払金	85,143
その他	3,611	リース債務	79,699
貸倒引当金	△3,166	賞与引当金	47,820
<b>固定資産</b>	<b>761,468</b>	その他	91,511
<b>有形固定資産</b>	<b>380,429</b>	<b>固定負債</b>	<b>949,612</b>
建物	25,866	長期未払金	144,081
構築物	0	長期リース債務	490,022
機械装置	0	資産除去債務	98,593
工具、器具及び備品	8,342	退職給付引当金	138,983
リース資産	346,220	その他引当金	75,325
<b>無形固定資産</b>	<b>245</b>	その他	2,606
ソフトウェア	245	<b>負債合計</b>	<b>1,560,100</b>
<b>投資その他資産</b>	<b>380,793</b>	<b>純資産の部</b>	
出資金	4,400	<b>株主資本</b>	<b>56,578</b>
差入保証金	322,479	<b>資本金</b>	<b>10,000</b>
長期前払費用	53,914	<b>利益剰余金</b>	<b>46,578</b>
		その他利益剰余金	46,578
		繰越利益剰余金	46,578
		<b>純資産合計</b>	<b>56,578</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,616,679</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>1,616,679</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 個 別 注 記 表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### 1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・貯蔵品 最終仕入原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 建物(建物附属設備を含む)・・・定額法  
構築物 ・・・定額法  
その他 ・・・定率法

(2016年3月31日までに取得した建物附属設備及び構築物については、定率法によっております。)

なお、主な耐用年数は、建物2～40年、構築物10年～15年、機械装置8年～17年、工具、器具及び備品2～20年であります。

無形固定資産 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用期間(5年)に基づく定額法によっております。

リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

### 3. 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率に基づき、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期に見合う分を計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。なお、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とし年金資産の額を控除する方法を用いた簡便法を適用しております。

### 4. 収益及び費用の計上基準

当社は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号2021年3月26日)を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

### 5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

資産に係る控除対象外消費税等は、発生事業年度の期間費用として処理しております。

## (当期純利益)

46,578 千円